

様式 1

労働環境の改善、募集方法の改善その他の雇用管理の改善及び森林施業の機械化その他の事業の合理化を一体的に図るために必要な措置についての計画認定申請書

平成 26 年 5 月 1 日

秋田県 知事 殿

主たる事務所の所在地 秋田市山林四丁目1-1
 商号又は名称 (有)〇〇林業
 代表者氏名 林野 太郎 印

- 1 営業内容 素材生産業 ()
 2 営業組織 有限会社 ()
 郵便番号 〒 100 - 8952
 電話番号 T:018-502-1629 F:018-502-1650
 メールアドレス 〇〇〇〇@ocn.ne.jp
 設立年月日 平成 8 年 5 月 24 日 設立
 営業年数 14 年
 資本金(出資金) 10,000,000 円
 事業所ホームページURL <http://shinrin-seibi.com>
- 3 登記事項証明書又は住民票(別添のとおり)
 4 納税証明書 (別添のとおり)
 5 改善計画 (別紙のとおり)
 6 改善計画の対象となる事業所の名称 (有)〇〇林業
 及び住所 秋田市山林四丁目1-1
 7 本都道府県以外に営業区域に含まれる都道府県 岩手県、山形県

様式 2

労働環境の改善、募集方法の改善その他の雇用管理の改善及び森林施業の機械化その他の事業の合理化を一体的に図るために必要な措置についての計画書

1 改善計画の対象となる事業所

名 称	住 所
(有)〇〇林業	秋田市山林四丁目1-1

2 事業主の雇用管理及び事業の現状

(1) 事業主の労働力の需給の動向

<ul style="list-style-type: none"> ・現場従業員の高齢化に伴い定年制を導入したことにより平均年齢は若くなった。 ・退職者補充のため平成18年頃から「緑の雇用」を活用し、地元から4名を常用雇用している。 ・現状では臨時・季節雇用労働者がいるが、今後はこれらの常用雇用化が課題。 ・そのため、安定的な事業量の確保に努めるとともに、週休2日制導入など福利厚生の実現が課題。
--

(記載要領)

事業主の最近の労働力需給の状況について記載すること。

(2) 組織

ア 役員数

(ア) 役員数

(常勤) 1名 (非常勤) 1名

(イ) 職員数(雇用形態別)

雇用形態	雇 用 実 績		
	林業現場作業職員	事務系等職員	計
常用 (うち通年)	15人 (13人)	2人 (2人)	17人 (15人)
臨時・季節	5人	1人	6人
その他	人	人	人
合計	20人	3人	23人

(記載要領)

- 1 雇用実績には、計画の認定を受けようとする年の前年の雇用実績を記載すること。
- 2 林業現場作業職員には、造林、保育、伐採その他の森林の施業に従事する者(法第2条第1項に規定する林業労働者をいう。)の数を記載すること。
- 3 事務系等職員には、事務系職員のほか林業現場作業職員でない職員の数を含めて記載すること。
- 4 常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがないか又は4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。)をいい、うち通年には、雇用契約において雇用期間の定めがない労働者数を記載すること。
- 5 臨時とは、雇用契約において1か月以上4か月未満の雇用契約期間が定められている仕事をいい、季節とは、季節的な労働需要に対し、又は季節的な余暇を利用して一定の期間(4か月未満、4か月以上の別を問わない。)を定めて就労するものをいう。
- 6 その他とは、常用、臨時・季節に該当しないもので、雇用契約において1ヶ月未満の雇用契約期間を定めて就労するものをいう。

記載例

(3) 雇用管理

ア 雇用管理体制

(ア) 雇用管理者の選任

事業所名	選任の有無	雇用管理者の役職、氏名
(有)〇〇林業	有り	役職 業務課長 氏名 森林 太郎
		役職 氏名
		役職 氏名
		役職 氏名
		役職 氏名

(記載要領)

事業所とは、それぞれ独立して雇用管理を実施し得る区分をさし労働基準法の事業場をいう。

(イ) 雇用に関する文書の交付

事業所名	交付の有無	文書の内容
(有)〇〇林業	有り	(別 添)
		(別 添)
		(別 添)
		(別 添)
		(別 添)

(記載要領)

- 1 事業所とは、それぞれ独立して雇用管理を実施し得る区分をさし、労働基準法の事業場をいう。
- 2 交付している文書の様式を添付すること。

(ウ) 社会・労働保険等への加入状況

保険等の種類	被保険者数 (被共済者数)	備考
労 災 保 険	23 人	労災保険の保険料率 4.2 %
雇 用 保 険	17 人	事業の種類 林業
健 康 保 険	23 人	メリット制の適用 有り
厚 生 年 金 保 険	23 人	
林業退職金共済等	23 人	

(記載要領)

- 1 労災保険被保険者数には労働者数を記載すること。
- 2 雇用保険被保険者数には一般被保険者数を記載すること。
- 3 林業退職金共済等には中小企業退職金共済のほか自社の退職金制度を含めて記載すること。
- 4 備考には、労災保険の保険料率、事業の種類、メリット制適用の有無を記載すること。
- 5 社会・労働保険等への加入状況が確認できる書類を添付すること。

(エ) 無災害の達成状況

区 分	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
厚生労働省労働基準局長による 無災害記録証	○ (08/4/1)				

(記載要領)

- 1 該当する欄に○印を記載し、()内に直近の無災害記録の起算日を記載すること。
- 2 無災害記録証の写しを添付すること。

イ 事業主の雇用管理の現状

・随時募集を行い現場従業員の確保に努めているが、積雪のある冬期から公共発注のない春先にかけては就労が不安定となるため、一部季節雇用としている。
 ・労働時間は8h(7～16時:うち休憩時間1h)で、作業現場までは社用車(9人乗バン)で通勤。
 ・賃金体系は日給制をとっている。

(記載要領)

- 1 林業労働者の雇用の現状、労働時間、職場環境、募集・採用その他の雇用管理の現状について、3の改善措置を行うこととした理由が分かるように記載すること。
- 2 就業規則を制定している場合には、それを添付すること。

(4) 事業内容

ア 事業実績

事業期間 (2010年4月1日 から 2011年3月31日)

区 分		事 業 量		売上高 (単位:百万円)	
林業	素材生産業	主 伐	5,000 m3(1,000 m3)	30 百万円	
		間 伐	10,000 m3(8,000 m3)	50 百万円	
		計	15,000 m3(9,000 m3)	80 百万円	
	造林業	植 付	5 ha(ha)	1 百万円	
		下 刈 り	5 ha(ha)	1 百万円	
		そ の 他	除伐	5 ha(ha)	1 百万円
				〇(〇)	百万円
		計		3 百万円	
	上記以外の林業	200 m(m)	1 百万円		
	林業関連その他		〇(〇)	百万円	
合 計		—	84 百万円		

(記載要領)

- 1 事業期間は、計画の認定を受けようとする年の前年とすること。
- 2 事業量には、自社山林に係るもののほか、請負、立木購入を含めて記載することとし、うち国有林野事業に係るものについては、() 書内数として明記すること。
- 3 素材生産業の事業量は素材材積換算とすること。
- 4 造林業のうちその他には、除伐、枝打ち等の保育作業について記載すること。
- 5 上記以外の林業には、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等の林業について記載すること。
- 6 林業関連その他には、特用林産物の生産、木材木製品製造業、土木業のうち治山、林道の施工、緑化・造園業、森林レクリエーションその他を記載すること。

イ 事業区域

区 分	事 業 区 域	備 考	
林業	素材生産業	秋田市、湯沢市	一部、岩手県、山形県で実施
	造林業	秋田市、湯沢市	
	上記以外の林業	秋田市、湯沢市	作業道開設
林業関連その他			

(記載要領)

- 1 区分は、アに同じ。
- 2 事業区域には、主な事業実施区域を記載すること。
- 3 流域又は県域を越えて事業を実施する場合にあっては、その旨を備考欄に明記すること。

記載例

ウ 雇用量及び労働生産性
事業期間 (2010年4月1日 から 2011年3月31日)

区 分		雇用量 (単位:人日)	労働生産性 (単位:m3/人日、 ha/人日)	
林業	素材生産業	主 伐	1,000 人日	
		間 伐	2,500 人日	
		計	3,500 人日	
	造林業	植 付	100 人日	
		下 刈 り	100 人日	
		そ の 他	除伐	100 人日
				人日
		計	300 人日	
	上記以外の林業		100 人日	2.0 m/人日
	林業関連その他		人日	○/人日
合 計		3,900 人日		

(記載要領)

- 1 事業期間は、計画の認定を受けようとする年の前年とすること。
- 2 雇用量は、直接作業に携わった者の延べ労働日数を記載し、労働生産性は事業量を雇用量で除した数値を記載すること。
- 3 区分は、アに同じ。

エ 資本装備
林業機械保有台数

機 種	台 数	稼働日数	備 考
グラップル	1 台 (1 台)	400 日	
フェラーバンチャ	台 (台)	日	
スキッター	台 (台)	日	
プロセッサ	1 台 (台)	200 日	
ハーベスタ	台 (台)	日	
フォワーダ	台 (2 台)	300 日	
タワーヤーダ	台 (台)	日	
スイングヤーダ	台 (台)	日	
	台 (台)	日	
	台 (台)	日	
	台 (台)	日	
合 計	2 台 (3 台)	900 日	

(記載要領)

- 1 台数及び稼働日数には、計画の認定を受けようとする年の前年の保有台数及び稼働日数を記載すること。
- 2 保有台数には1年を越える契約のリース機械を含み、レンタル機械については () 書外数とすること。

記載例

オ 技術者・技能者数

資格等の区分	人 数	備 考
フォレストワーカー(林業作業士)	10 人	
フォレストリーダー(現場管理責任者)	2 人	
フォレストマネージャー(統括現場管理責任者)	1 人	
森林作業道作設オペレーター	1 人	
森林施業プランナー	1 人	
技術士	人	
技能士	人	
林業技士	1 人	
	人	
	人	
	人	
	人	
	人	
合 計	16 人	

(記載要領)

- 1 資格等の区分には、フォレストワーカー(林業作業士)、フォレストリーダー(現場管理責任者)、フォレストマネージャー(統括現場管理責任者)、森林作業道作設オペレーター、森林施業プランナー、技術士、技能士、林業技士、その他の区分を記載すること。
 - ア フォレストワーカー(林業作業士)、フォレストリーダー(現場管理責任者)、フォレストマネージャー(統括現場管理責任者)とは、センター等が実施する研修を修了し、農林水産省が備える研修修了者名簿に登録された者とする。
 - イ 森林作業道作設オペレーターとは、森林作業道作設オペレーター養成のための研修を受講するなどして、丈夫で簡易な作業道を作設する能力を有する者とする。
 - ウ 森林施業プランナーとは、森林施業プランナー育成のための研修を受講するなどして、森林施業の方針や間伐等の施業に係る事業収支を示した施業プランを森林所有者に説明・提案し、合意形成を図る者とする。
 - エ 技術士とは、技術士法に基づく技術士(技術士補を含む。)とする。
 - オ 技能士とは、職業能力開発促進法に基づく技能士(技能士補を含む。)とする。
 - カ 林業技士とは、(社)日本森林技術協会の認定する林業技術士とする。
 - キ その他とは、林野庁森林技術総合研修所で行う森林・林業技術研修の修了者、都道府県知事が認定する基幹林業作業士(グリーンマイスター)、林業技能作業士(グリーンワーカー)その他林業作業士のほか、有資格者業務に係る資格を有する者(雇用管理の改善に係る資格者を除く。)とする。
- 2 人数には、計画の認定を受けようとする年の前年の現有人数を記載すること。

カ 組織化の取組状況

年 月	実 施 内 容
2007年5月1日	(有)〇〇造林を吸収合併
2009年10月1日	(株)△△建設とグラップルのレンタル契約を開始

(記載要領)

合併、事業の協業化等を実施した場合には、記載すること。

キ 資本及び負債等

(ア) 財務諸表

計画の認定を受けようとする最近3か年の貸借対照表及び損益計算書を添付すること。

(イ) 資金調達方法

区 分	金 額	備考(適用事業)
自己資金	10,000 千円	
借入金	市中資金	千円
	制度資金	5,000 千円
その他資金	千円	

(記載要領)

制度資金にあつては、適用資金別、適用事業所別に記載すること。

3 改善措置の目標、内容、実施時期

(1) 改善措置の基本方針

実施期間 (2011年6月1日 から 2016年5月31日)	
雇用管理の改善の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現場従業員の通年雇用化に取り組む。 ・月給制への移行・週休2日制の導入に取り組む。
事業の合理化の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・施業の集約化を進め、年間を通じた安定的な事業量の確保に取り組む。 ・プロセッサの処理能力を十分に発揮できるよう、フォワーダの導入に取り組む。 ・効率的な作業システムの設計や工程管理ができる人材の育成に取り組む。

(2) 改善措置の実施項目

雇用管理の改善		事業の合理化	
雇用の安定化	○	事業量の安定的確保	○
労働条件の改善	○	生産性の向上	○
募集・採用の改善	○	林業労働者のキャリア形成支援	○
教育訓練の充実	○	—	
高年齢労働者の活躍の促進	○	—	
その他の雇用管理の改善① ()	—	その他の事業の合理化① ()	—
その他の雇用管理の改善② ()	—	その他の事業の合理化② ()	—

(記載要領)

- 1 実施する改善措置の項目に○印を記入すること。
- 2 ただし、募集・採用の改善措置については、他の雇用管理の改善措置と併せ行うものとする。

記載例

(3) 改善措置の目標、内容、実施時期

ア 役員及び組織

(ア) 役員数（常勤） 1 名 （非常勤） 1 名

(イ) 職員数

区 分	採 用 計 画					目標年次 の職員数
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
林業常 現場用 （うち通 年）	1人 (1人)	人	1人 (1人)	人	1人 (1人)	16人 (16人)
作業 臨時・季節 職員	人	人	人	人	人	人
そ の 他	人	人	人	人	人	人
合 計	1人	人	1人	人	1人	16人

(記載要領)

- 1 林業現場作業職員の雇用期間の区分は、2の(2)のアの(イ)に同じ。
- 2 採用計画の欄には、当該年次の採用予定者数を記載すること。
- 3 目標年次の職員数の欄には、2の(2)のアの(イ)の林業現場作業職員数に採用予定者数に加え、退職見込み者等の人数を減じた人数を記載すること。

(ウ) 組織

区 分	内 容	実施時期
1 経営形態	株式会社化に取り組む。	3年以内
2 資本金	株式会社化に伴い、増資を行う。	3年以内
3 組織化	株式会社に移行後、(株)△△建設と人事交流を行う。	5年以内

(記載要領)

- 1 経営形態の変更、資本金（出資金）の増資、組織化等を実施しようとする場合には記載すること。
- 2 資本金（出資金）を増資する場合には、増資する額及び資金調達方法について記載すること。
- 3 組織化には、合併、事業の共同化その他について記載すること。

イ 雇用管理

(ア) 雇用の安定化

改善措置 の目標		
年 次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

(イ) 労働条件の改善

改善措置 の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

(ウ) 募集・採用の改善

改善措置 の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

(エ) 教育訓練の充実

改善措置 の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

(オ) 高年齢労働者の活躍の促進

改善措置 の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

(カ) その他の雇用管理の改善

改善措置 の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

ウ 事業の合理化

(ア) 事業量の安定的確保

改善措置 の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

記載例

a 事業の種類及び事業区域

区分	事業拡大の目標及び内容	事業区域	実施時期
素材生産業	搬出間伐の増加に取り組む(10,000m ³ から15,000m ³ へ)	東京都、神奈川県	5年以内
造林業			
上記以外の林業			

(記載要領)

- 1 区分は、2の(4)のアの区分に同じ。
- 2 事業拡大の目標については、具体的に記載すること。
- 3 事業区域は、2の(4)のイの区分に同じ。

b 事業量

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	目標年次(5年次)
素材生産業	主伐	5,000 m ³	5,000 m ³	5,000 m ³	5,000 m ³	5,000 m ³
	間伐	11,000 m ³	12,000 m ³	13,000 m ³	14,000 m ³	15,000 m ³
	計	16,000 m ³	17,000 m ³	18,000 m ³	19,000 m ³	20,000 m ³
造林業	植付	5 ha	5 ha	5 ha	5 ha	5 ha
	下刈り	5 ha	5 ha	5 ha	5 ha	5 ha
	除伐	5 ha	5 ha	5 ha	5 ha	5 ha
	その他	○	○	○	○	○
	計	○	○	○	○	○
上記以外の林業		200 m	200 m	200 m	200 m	200 m

(記載要領)

区分は、2の(4)のアの区分に同じ。

c 雇用量

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	目標年次(5年次)
素材生産業	主伐	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日
	間伐	2,600 人日	2,700 人日	2,800 人日	2,900 人日	3,000 人日
	計	3,600 人日	3,700 人日	3,800 人日	3,900 人日	4,000 人日
造林業	植付	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日
	下刈り	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日
	除伐	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日
	その他	人日	人日	人日	人日	人日
	計	300 人日	300 人日	300 人日	300 人日	300 人日
上記以外の林業		100 人日	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日

(記載要領)

区分は、2の(4)のアの区分に同じ。

記載例

(イ) 生産性の向上

改善措置の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

a 労働生産性

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	目標年次 (5年次)
素材 生産業	主 伐	5.0 m ³ /人日	5.0 m ³ /人日	5.0 m ³ /人日	5.0 m ³ /人日	5.0 m ³ /人日
	間 伐	4.2 m ³ /人日	4.4 m ³ /人日	4.6 m ³ /人日	4.8 m ³ /人日	5.0 m ³ /人日
	計	4.4 m ³ /人日	4.6 m ³ /人日	4.7 m ³ /人日	4.9 m ³ /人日	5.0 m ³ /人日
造林業	植 付	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日
	下 刈り	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日
	除伐	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日	0.1 ha/人日
	○/人日	○/人日	○/人日	○/人日	○/人日	
	計	○/人日	○/人日	○/人日	○/人日	○/人日
上記以外の林業		2.0 m/人日	2.0 m/人日	2.0 m/人日	2.0 m/人日	2.0 m/人日

(記載要領)

労働生産性は、原則として事業量を雇用量で除した値とする。

記載例

b 資本装備（機械保有台数）

機 種	整 備 計 画					目 標 年 次 の 保 有 台 数
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
グラップル	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	1 台 (1 台)
フェラーバンチャ	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)
スキッダ	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)
プロセッサ	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	1 台 台)
ハーベスタ	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)
フォワーダ	台 台)	台 台)	1 台 台)	台 台)	台 台)	1 台 (2 台)
タワーヤーダ	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)
スイングヤーダ	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)
	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)	台 台)
合 計	台 台)	台 台)	1 台 台)	台 台)	台 台)	3 台 (3 台)

（記載要領）

- 1 台数及び稼働日数には、計画の認定を受けようとする年の前年の保有台数及び稼働日数を記載すること。
- 2 保有台数には1年を越える契約のリース機械を含み、レンタル機械については（ ）書外数とすること。
台数に整備予定台数を加え、廃棄見込み等の台数を減じた台数とすること。

(ウ) 林業労働者のキャリア形成支援

改善措置 の目標		
年 次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

記載例

a 技術者・技能者数

資格等の区分	技術者・技能者養成計画					目標年次の要員数
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
フォレストワーカー(林業作業士)	人	人	1人	人	1人	12人
フォレストリーダー(現場管理責任者)	人	1人	人	人	人	3人
フォレストマネージャー(統括現場管理責任者)	人	人	人	1人	人	2人
森林作業道作設オペレーター	人	人	人	人	人	1人
森林施業プランナー	人	人	人	人	人	1人
技術士	人	人	人	人	人	人
技能士	人	人	人	人	人	人
林業技士	人	人	人	人	人	1人
	人	人	人	人	人	人
合計	人	1人	1人	1人	1人	20人

(記載要領)

- 1 資格等の区分は、2の(4)のオの区分に同じ。
- 2 技術者・技能者養成計画の欄には、当該年次の養成予定者数を記載すること。
- 3 目標年次の要員数の欄には、2の(4)のオの現在資格等を有している人数に養成人数を加え、退職見込み者等の人数を減じた人数を記載すること。

(エ) その他の事業の合理化

改善措置の目標		
年次	改善措置の内容	改善措置の実施方法
1年次		
2年次		
3年次		
4年次		
5年次		

記載例

4 改善措置を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

ア 雇用管理の改善

区分	資金種類	金額	償還条件等	実施時期	摘要
雇用の安定化		千円			
労働条件の改善		千円			
募集・採用の改善	制度資金	500 千円	償還期間10年	1年次	林業就業促進資金
教育訓練の充実	その他	3,600 千円		1～5年次	緑の雇用
高年齢労働者の活躍の促進		千円			
その他の雇用管理の改善		千円			
合計		4,100 千円			

(記載要領)

- 1 資金種類には、自己資金、市中資金、制度資金、その他の区分を記載すること。
- 2 補助金等の助成措置がある場合には、金額の欄に補助金等に相当する額を()書外数として記載すること。
- 3 摘要欄には、資金名等を記載すること。

イ 資本装備等

区分	資金種類	金額	償還条件等	実施時期	摘要
事業量の安定的確保	制度資金	10,000 千円	償還期間5年 2.35%	1年次	木材産業等高度化資金
生産性の向上	制度資金	5,000 千円	償還期間10年	3年次	林業・木材産業改善資金
林業労働者のキャリア形成支援	その他	3,600 千円		1～5年次	緑の雇用(再掲)
その他の事業の合理化		千円			
合計		18,600 千円			

(記載要領)

- 1 資金種類には、自己資金、市中資金、制度資金、その他の区分を記載すること。
- 2 補助金等の助成措置がある場合には、金額の欄に補助金等に相当する額を()書外数として記載すること。
- 3 摘要欄には、資金名等を記載すること。